

## 207. 前論文186及び203への注意

南雲道夫(阪大)

甚だ些細な事ながら前=出シタコト=ツイテツマラナイ  
注意ヲ附ケ足サレテ載キマス。

---

53号・186 “凸凹ナ床=机ヲ据エル問題”ニ於テハ  
机ノ足先ガ一点カラ成ルモノト考ヘマシタ。實際ハソシテ  
ハアリマセン。机ノ足先ガ太サヲ看スルトキガ問題デス。然  
シ此ノ場合ノ解答ハ私ニハ出来マセンガ、足先ガ丁度球面ノ  
時=ハ(ソノ半径ハ四ツトモ等シイ)同様ナ結果ヲ得マス。  
証明ハ足先ノ四点ノ代リ=球ノ中心ヲ考ヘレバ、ソツクリソ  
ノマニ成立シマス(足ト床トノ切点デハウマク行キマセン)。

---

58号・203 “連続ナ環=於ケル群  $G_s \cdot G_t = G_{s+t}$   
=ツイテ”ニ於テ *Ring*  $\mathcal{R}$ ガ単位1ヲ含マヌトキニハ之  
ヲ付ケ加ヘルコトが出来ルコトヲ示シ、 $G(t)$ ノ代リニ之ヲ  
 $t=0$ ノ時単位ニナル様ナ  $H(t)$ ガオキカヘマシタ。

然シ  $G(0)=A$ トスル時、 $A^2=A$ ナルコトカラ、  
 $A$ ハ  $\mathcal{R}_A = \mathcal{R}$ ノ部分環トナリ、 $A$ ハ  $\mathcal{R}_A$ ニ於ケル単位  
トナリマス。又  $G(t) \in \mathcal{R}_A$ ナルコトガ容易ニ解リマスカラ、  
スベテ  $\mathcal{R}_A$ 内ヲ考ヘレバ  $G(t)$ ヲソノマニテ之ヲ変形スル必  
要ハアリマセン。

昭和十年度1月—6月分ノ會費金貳円未  
納ノ方が大分アリマス。

一度決算ヲシタイト思ヒマスカラ至急御納  
メ願ヒマス。

尚途中入會ノ方ハ何レ近日中ニ會費請求  
致シマス。